

# 丹沢たかし活動報告

市川三郷町市川大門1227 TEL/FAX 055-272-0413 丹沢たかし後援会  
tanbaya@t-tanzawa.com



## ごあいさつ

新年明けましておめでとうございます。

本年もよろしくお願い致します。

令和となり初めてとなる新年は、穏やかな天候でのスタートとなりましたが、沖縄・九州では4月並みの気温、北海道では雪不足となるなど、季節外れの天候となる地域も出ています。異常気象が常態化する近年、年末の「今年の漢字」に「災」が選ばれることがない年となる様祈ります。

町の新生涯学習センターが開館しました。新施設が文化活動や健康づくり・スポーツの拠点として活用されることを期待します。

東京五輪に、中央市出身の平野美宇選手の卓球での出場が決定しました。身近な存在として応援にも力が入ります。

また、今年の神明の花火大会は、東京五輪開催の関連から10月10日に開催日が変更されます。秋の開催となり、例年と異なる苦労もあると思われませんが、変わらず多くの方を楽しませてくれるものだと確信しています。

次の世代により魅力ある町として引き継げるよう、今後も取り組んでいく決意ですので、皆様の更なるご支援をお願いいたします。



市川高校音楽部によるクリスマスコンサート  
(町庁舎ロビー)

### 【所属委員会等】

- 教育土木常任委員会（委員長）
- 議会広報編集特別委員会（副委員長）
- 議会改革特別委員会（全議員で構成）
- 峡南医療センター企業団議会
- 大畠山外七字恩賜県有財産保護組合議会
- 土地利用審議会
- 水防協議会
- 市川大門恩賜県有財産保護財産区管理会
- 社会教育委員会
- ふるさと夏まつり実行委員会
- 学校給食センター運営委員会
- 連携型県人会・市川三郷町ゆかりの会  
「りんどう」理事（元設立準備委員）

### 《議員手話勉強会を開催》

13日議会終了後、福祉支援課職員を講師に「福祉講話」と「手話勉強会」を行いました。

町では平成27年9月議会で県下初の「手話言語条例」を制定し、「手話施策推進計画」に基づき様々な普及活動に取り組んでいます。

■ 令和初の成人式が1月12日（日）開催されました。（参加者数130名）

#### ＜近年の参加者数＞

平成31年	146名
平成30年	146名
平成29年	170名
平成28年	155名
平成27年	176名

# 令和元年 12月 定例議会の概要

## ■会期：12月3日（火）～13日（金）の11日間

条例の制定・改正、令和元年度一般会計・特別会計当初予算、町道路線認定など、23議案が提出され、いずれも原案どおり承認、可決、同意されました。

## ■主な議題等

金額：万円未満四捨五入

- 令和元年度一般会計補正予算 2億 616万円追加（補正後予算 95億6354万円）
  - ・公共土木施設災害復旧費（台風19号災害対応・六郷鴨狩津向） 9320万円
  - ・ふるさと納税関係事業費（特産品贈呈事業・委託費）追加 3085万円
  - 今年度受入寄付額見込み 3億円へ。（昨年度受入額 1億5000万円）
    - \*その後1月5日時点の受入実績は3億9278万円まで増加。
  - ・町内外私立施設、町外公立保育所委託料追加（年度途中入所等児童分） 2430万円
  - ・農業水産施設災害復旧費 1132万円
  - ・若者定住促進住宅補助金追加 600万円  
（当初予算1600万円を3000万円までに追加）
  - ・市川中学校校舎屋根改修工事費 179万円
  - ・山梨西部広域環境組合負担金 56万円

## ●会計制度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例制定

- ・「会計制度任用職員」制度の導入に伴う条例制定
- ・令和2年4月1日より実施
- ・町臨時職員を「会計制度任用職員」とする
- ・昇給や期末手当制度を適用する

## ●峡南地区ことばの教室共同設置協議会規約変更

- ・言語障害に限らず、学習障害や情緒障害等の指導を行っていることから、峡南5町で共同設置（富士川町鰻沢小学校に併設）している「ことばの教室」の名称を「通級指導教室」に変更する

## ●山梨西部広域環境組合の設置に関する協議

- ・県の「ごみ処理広域化計画」に基づき協議されてきた、本町を含むAブロックでのごみ処理施設建設に関する「山梨西部広域環境組合」の組合規約の協議。可決により加入となる。
- ・組合設置は、本年2月1日
- ・賛成多数で可決（丹沢も賛成しました）
  - 施設建設にあたっては、加入することにより、地域要望を反映させる
  - 町単独でのごみ処理施設建設は困難

## ●「みはらしの丘・みたまの湯、のっぴいの館」の次期「指定管理者」を指定

- ・指定管理者 株内外ビル（現在と同様）
- ・指定の期間 令和2年4月1日から令和7年3月31日まで

## 県ごみ処理広域化計画の概要

- 県内の家庭ごみ処理施設を3ブロックに集約する
  - A：峡北・中巨摩・峡南地域
  - B：甲府・峡東地域
  - C：郡内地域
- 「甲府・峡東」は稼働済み
- 平成30年2月、5市6町首長による「峡北・中巨摩・峡南地域ごみ処理広域化推進協議会」を設立
- 協議会を12回開催し、建設地を協議。昨年10月、3候補地から中央市浅利地区に決定
- 予定地等
  - ・中央市浅利地区の国道140号線沿いの大塚地区に隣接する農地約6ha
  - ・総事業費約290億円
  - ・処理量 約290トン/日
  - ・稼働目標 令和13年（2031年）4月

## ■ 一般質問 12月議会で以下の質問を行いました。

\* 詳細は市川三郷町ホームページ「議会会議録」に掲載されます。

### ◆「市川三郷町のっぴい魅力化プロジェクト」の概要と今後の取組みについて

**Q**：山日新聞に「市川三郷活性化策を考える」という記事が掲載された。本町が対象となった経緯は。

**A**：東京で開催された地方創生研修で、対象地域を模索していた(財)日本総研研究員と町職員とが交流したことがきっかけとなった。

**Q**：テーマとコンセプトは。

**A**：普段都市部で生活する大学生が、少子高齢化や過疎化などの諸問題を抱える地方の町に滞在し、地域との交流などにより実践的な地域活性化策を提案する。

**Q**：プロジェクトの実施体制と役割分担は。

**A**：(財)日本総研が事業主体。町役場は町での活動をサポートする役割として、町各種団体や町民との交流に関するコーディネーター役を務めた。

**Q**：成果と評価は。

**A**：10人の大学生が3グループに分かれ、本町のブランドコンセプトについてのアイデアを創出し、最終日にプレゼン大会を開催した。学生にとって学びを深める実践的な場となり、町や地域にとっても改めて町を考えるきっかけづくりになったと思われる。

**Q**：費用負担はどうか。

**A**：往復の交通費は学生の個人負担。宿泊、食事代、活動にかかる費用は(財)日本総研が負担した。

**Q**：先行自治体における事例と成果は。

**A**：昨年までの3年間鳥取県日野町で同様事業が実施された。延べ30数名の学生が参加した。10種類の提案があり、休耕田を活用したひまわり迷路、高校の不要自転車を利用した観光用サイクリング自転車整備、独自の婚姻届用紙作成など、ほぼ半分程度を実現化されたとのこと。また、学生の宿泊は、町民の協力を得てホームステイを実施した。

**Q**：地域活性化には、よそ者や若者の視点が大事といわれる。このプロジェクトに本町が選定されたことは大きなチャンスである。町民の多くの参画を得て最大限の活用を図り、より充実した取組みとするよう求める。

**A**：青洲高校生との交流なども考えられる。今後は、庁内各課の連携を取る中で事業のサポートをし、学生の力を生かす方策に力を入れて町の発展につなげていきたい。

#### 山日新聞記事の概要

- 9月の3日間、東京にある6つの大学から大学生10名が町に滞在し、町の魅力や課題を探った。
- このプロジェクトは、一般財団法人「日本総合研究所」の研究員が主管。
- 「市川三郷町ブランドを考えよう」をテーマに、印章づくり、ブドウ収穫体験、おもちゃ花火専門店や和紙製造工場の見学など、伝統産業に触れたり地元町民と交流したりし、見聞きしたことを基に活性化策を提案した。
- 最終日に市川東小学校で報告会を開き、町職員や町内業者など約40名が参加。

#### Aチーム：

日本一の産業／技術／伝統／熱い想い

職人の町 市川三郷町

- 提案内容：市川三郷職人街
- ・中央通り商店街に伝統産業を集める
- ・1カ所で様々な職人と触れ合える 等

#### Bチーム：

山と伝統文化の「悦び」の町

- 提案内容：市川三郷町芸術祭
- ・地域の資源を生かした芸術作品をアーティストに制作してもらう
- ・一定期間、作品を町一帯に点在させ、観光客が周遊できる 等

#### Cチーム：

クセが強い町、市川三郷町

- 提案内容：観光ツアーにより個々の資源と町内一体化を醸成
- ・大学生や高校生向けの体験型ツアー。外部の若者と住民の交流
- ・シニア向け伝統工芸ツアー。シニアの強い人脈による町の発信と浸透 等

# 《新生涯学習センターオープン 1月25日》

■名称 市川三郷町生涯学習センター（市川三郷町市川大門1437番地1）

『愛称：i fセンター』

## ■施設の構成

施設名	施設の機能	開館時間	休館日
市川三郷町立 図書館 (本館)	図書館 (学習室、地域資料室及び ボランティア室含む)	火・水・木・金 9:30～19:00 土・日・祝 9:30～17:00	・月曜日 ・年末年始(12/28～1/4) ・祝日の翌日 ・月末平日 ・特別整理期間
生涯学習館	多目的ホール 会議室 音楽室 研修室 調理実習室 和室 控室	9:00～22:00	・月曜日 ・年末年始 (12/28～1/4)
体育館	アリーナ 体育館多目的室 男女更衣室 観覧席 室内ウォーキングロード	9:00～22:00	・月曜日 ・年末年始 (12/28～1/4)

## ■使用申込

○受付場所：町教育委員会生涯学習課

○受付時間：8:30～17:15

\*仮受付場所・時間

①生涯学習センター管理事務所

9:00～21:00

(夜間使用がない場合は19:00まで)

②三珠支所、六郷支所及び大同出張所

8:30～17:15



県合同庁舎・市川大門駅方面への  
センター南側出入口。  
利用時間 9:00～20:00



宛先などに誤りがございましたら、なにとぞご容赦ください。なお、お知らせいただければ幸いに存じます。